

いか、折角己が笛を吹いてやつた時には跳らないで居て、己めてから面白さうに跳るてへのは隨分馬鹿な話だなー」

ければ「可ない」といって。とうへ学生の負けになりました。

不思儀の裁判

むかしギリシアといふ國に、ひとりの學生が居りましたが、法律を研究する目的で、或る法律の先生の門には入つて、「御禮は何れ卒業して始めて裁判に出て勝つた時に御渡し致します」といふことで三年の間勉強して、卒業しましたが、夫つ切り中々御禮のお金を持って来ません。

そこで、先生もとうべくらへきれなひで、月謝請求の裁判を起しました。裁判官は二人のいふことを驚いて聞いて『それは、どうも學生の方が宜しくない。三年の間習つた御禮は確に、先生に拂はん

それで、先生は「さ一裁判でも己が勝つたから、どうしても月謝を拂はんければいけない」と學生に申しますと、學生は、済したもので、「イーエ夫でも始めの約束は、私が始めて裁判に出て勝つた時にふ拂ひするといふことでした、今度の裁判では私が負けたのですから、決して拂ふ義務がありませんといって、中々拂ふとはしません、夫で裁判官も大に困つて、とーー此裁判は無期延期にしましたとさ。

兎と龜と

これも、昔しギリシア人の考へ出した事ですが、龜と兎と競走させるに、龜が兎よりどの位か前の